フィンドレー大学月例報告書【9 月】

芸術文化学科四年

留学して早くも二ヶ月が過ぎました。日々の授業に慣れてきて、初めは新鮮だった授業が少しずつ日常となりつつあります。今回は私が履修している授業について詳しくお教えできたらと思います。

【必修科目】

到着してすぐに受験することになるテストの実力次第でプログラムが変わります。レベル 1〜4 まであり、私はレベル 3 でした。レベル 4 から学部の授業もとることが出来るそうです。事前に TOEFL 等で高スコアを持っている場合、テスト受験は免除され、レベル 4 のプログラムを受けることが出来るそうです。必須科目は文法、スピーキング、リーディング、Academic Literacy、English for Specific Purposes の 5 つです。文法の授業は日本人学生にとっては正直かなり簡単で、日本の教育がいかに文法に重点を置いているかを肌で感じました。スピーキングの授業では r と l の音のように、我々が苦手としている発音の練習や、会話を円滑に進めるための方法について学びます。この授業はプレゼンテーションで学んだ内容を発表する機会が多いです。リーディングの授業では長文を読み、内容についてディスカッションを行います。一冊本を選び、毎週 30 ページ程を読み、その内容をまとめる課題があります。これがなかなか重い課題だと思われます。続いて Academic Literacy ですが、こちらは大学生としての心得のような内容を扱う授業で、どちらかというとリスニング力を鍛える授業だと思います。この授業が一番難易度は高いです。留学生向けの授業なのですが、ヨーロッパ圏からの留学生も受ける授業で、彼らは英語学習プログラムではなく、学部の授業を受けに来ております。そのため、先生の話すスピードや情報量が容赦ないです。ただ、自分の英語力の進歩を測るのにはうってつけの授業だと思いますし、良い刺激だと思います。最後に English for Specific Purposes ですが、こちらはアメリカの政治について学び、調べ学習を行うタイプの授業です。政治関係の単語はなじみが薄く、覚えるまでは大変ですが、授業自体はレベル 1〜4 の合同なので、難しくはないです。

【選択科目】

必修科目のみで履修可能単位の上限になっているので、これ以降の科目はオーディット（聴講）で履修しました。聴講にしない場合、一科目ごとに追加の費用が掛かってしまいます。ただ、Choir（合唱）の授業を取ると、上限が無くなるそうです。私が聴講している科目は Cultural Communication、Genki Kids、Choir の三つです。Cultural Communication は、留学生がアメリカ人に自国の文化、アイデンティティについて紹介する授業です。大学の学生だけでなく、老人ホーム、小中学校など、学外の施設の人々と会話をする機会があり、大学の外の世界を学ぶことが出来ますし、自分のスピーキング力

を練習するいい機会でもあります。Genki Kids はアメリカ人の子供たちに日本語や日本の遊び、歌を紹介する授業です。まだ準備段階で実際に子供たちは参加してはいませんが、グループワークでそれぞれの担当会を決め、模擬授業のような活動を行っております。Choir は合唱です。私は歌が得意ではありませんが、一般の学生が受講している授業であり、IELP の学生が取れる数少ない授業ですので、受講しました。特殊な授業ではありますが、アメリカの大学の授業の雰囲気を知ることができ、現地学生と知り合えます。

【シカゴ旅行】

10 月 3 日から 10 月 7 日まで Fall Break という土日を合わせて四日間の休暇があったため、この機会を利用してシカゴへ旅行に行きました。お金の節約のため、長距離バスを利用して 8 時間かけてシカゴに向かいました。片道約＄50 と、かなり安いです。アメリカは車社会ですので、車がない我々留学生は移動でかなり苦労します。そんな車社会アメリカでバスを利用する客層ですので、治安の面は少し注意が必要です。直接的な危害を加えてきそうな人はいませんでしたが、どこか怪しい雰囲気があり、独特の緊張感を味わいました。シカゴではネイビーピア、ミレニアムパーク、リバーウォーク、シカゴ美術館、360 シカゴ、シカゴアウトレットに行きました。フィンドレーがかなりの田舎なので、着いた時にはあまりの都会さに感動しました。アメリカ人はあまりおしゃれをしないというイメージを持っている人が多いと思います。実際、フィンドレーはそうです。しかし、シカゴはファッショナブルな人が多いのが印象的でした。節約のために徒歩中心でしたが、シカゴの町は有名な建築家が手掛けた芸術的なビルが多数あり、歩くだけでも楽しいです。また、街を流れる川や、車道の上を通る鉄道などが組み合わさり、独特の魅力があります。シカゴのアウトレットに行く際に、40 分ほど電車を利用しました。地下道やホームは臭く、汚かったです。電車のシートは固く、速度の変更が急で、車体が上下に揺れることも多く、車酔いしやすい友人は辛そうでした。日本の公共交通機関がいかに優れているのかを実感した次第です。今回のシカゴ旅行で特にお勧めするアクティビティを一つ挙げるとしたら、ネイビーピアのアーキテクチャツアーでしょう。クルーズ船に乗って有名なビルを見て回れるのですが、同時にビルのデザインやシカゴの歴史について知れて、とてもよかったです。また、シカゴを回る際はタクシーではなく、徒歩で街を探索してみることを強くお勧めします。





